

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

地理歴史

地理 A

(各科目)
100点

㊦

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の第1解答科目欄・第2解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選択方法
世界史 A	4～33	受験できる科目数は、受験票に記載されています。
世界史 B	34～61	
日本史 A	62～89	なお、以下の組合せは選択できません。
日本史 B	90～121	
地理 A	122～153	・「世界史A」と「世界史B」
地理 B	154～187	・「日本史A」と「日本史B」

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して㊸と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の㊸にマークしなさい。

(例)

解答番号	解	答	欄
10	①	②	㊸ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

6 不正行為について

- ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
- ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
- ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。

7 2科目受験者の試験の進行方法について(2科目受験者のみ確認)

- ① この試験は、前半と後半に分けて実施します。
- ② 前半に解答する科目を「第1解答科目」、後半に解答する科目を「第2解答科目」として取り扱います。解答する科目及び順序は、志望する大学の指定に基づき、各自で決めなさい。
- ③ 第1解答科目、第2解答科目ともに解答時間は60分です。60分で1科目だけを解答しなさい。
- ④ 第1解答科目の後に、答案を回収する時間などを設けてありますが、休憩時間ではありませんので、トイレ等で一時退室することはできません。

注) 進行方法が分からない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

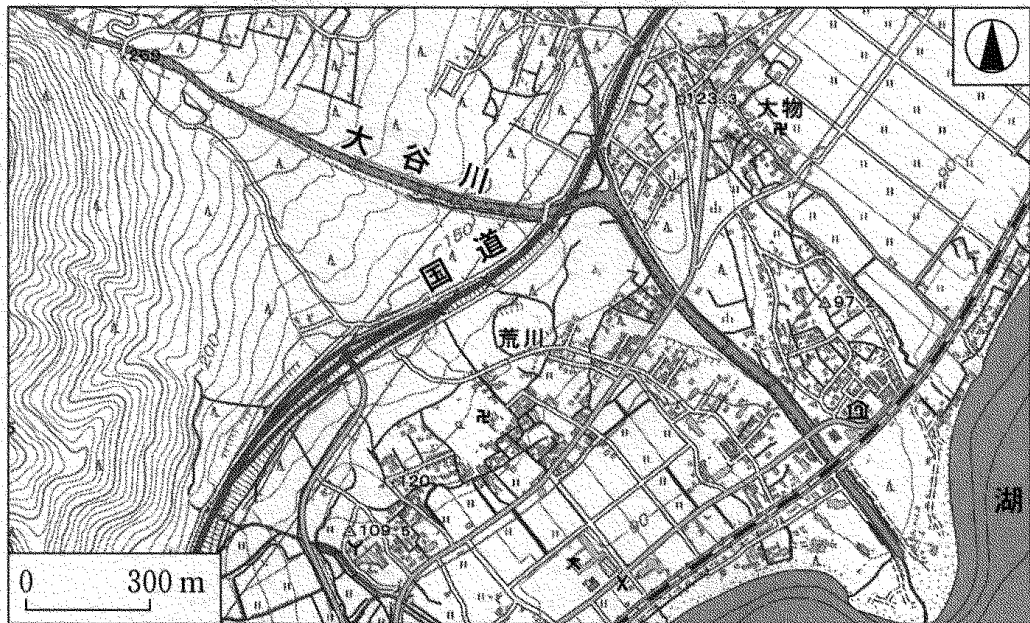
地 理 A

(解答番号 1 ~ 30)

第1問 地図の読み取りと活用, および日本の自然災害に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図1は, 日本のある地域を示したものである。この地域にみられる特徴について述べた文として最も適当なものを, 後の①～④のうちから一つ選べ。

1



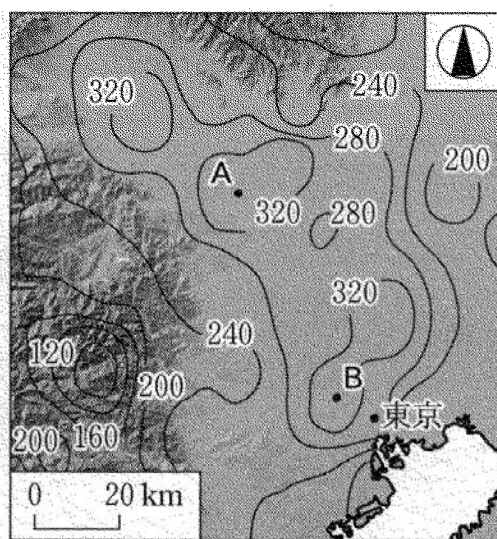
地理院地図により作成。

図 1

- ① 河川による侵食のため, 国道の西側の方が東側よりも傾斜が緩い。
- ② 国道の西側は水はけや日当たりがよいため, 果樹園が広がっている。
- ③ 国道の東側の水を得やすい地域には, 集落や水田が分布している。
- ④ 土砂の堆積により大谷川の河床は高く, 河川が国道や鉄道の上を通る。

地理 A

問 2 次の図 2 は、陰影をつけて地形の起伏を表現した関東地方の地図上に、気温が 30°C 以上となる年間時間数の分布を示したものである。図 2 中の A と B は、高温となる時間が特に長い地点を示している。図 2 を見た先生と生徒による会話文中の空欄アとイに当てはまる語句と地点との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2



2003～2007 年の平均値。
環境省の資料などにより作成。

図 2

先生 「高温となる時間の長い地域がいくつか局所的に分布しています。ヒートアイランド現象や、風が（ア）際に高温となるフェーン現象など、いくつかの要因が複合的に作用していると考えられます」

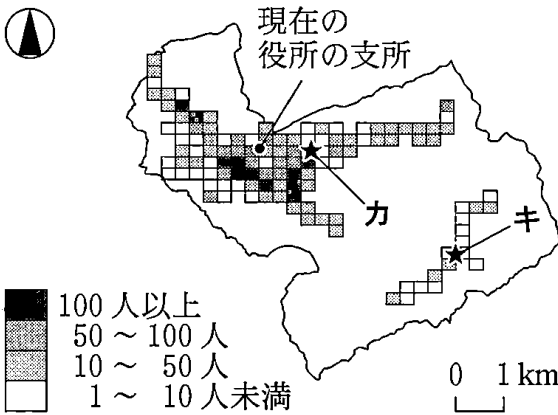
生徒 「地形条件から推測すると、地点 A と B とを比較した場合、（イ）の方が、フェーン現象による影響を受けやすいのではないのでしょうか」

	①	②	③	④
ア	山地を上る	山地を上る	山地から下る	山地から下る
イ	A	B	A	B

地理 A

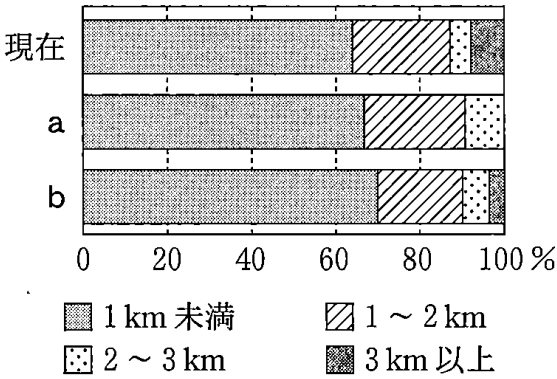
問 3 GIS は、地域の望ましい施設配置を検討する際に役立つ。次の図 3 は、ある地域における人口分布と現在の役所の支所、および追加で配置する支所の候補地点力とキを示したものである。また、図 4 は、最寄りの支所からの距離別人口割合であり、a と b は、力とキのいずれかに 2 か所目の支所が配置された後の状況を示したものである。さらに、後の文 D と E は、力とキのいずれかに支所を配置するときの考え方を述べたものである。候補地点キに当てはまる距離別人口割合と考え方との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

3



国勢調査などにより作成。

図 3



国勢調査などにより作成。

図 4

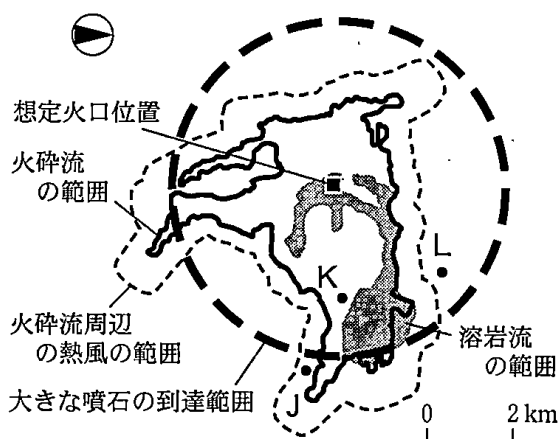
考え方

- D 公平性を重視し、移動にかかる負担の住民間の差をできるだけ減らす。
- E 効率性を重視し、高い利便性を享受できる住民をできるだけ増やす。

	①	②	③	④
距離別人口割合	a	a	b	b
考え方	D	E	D	E

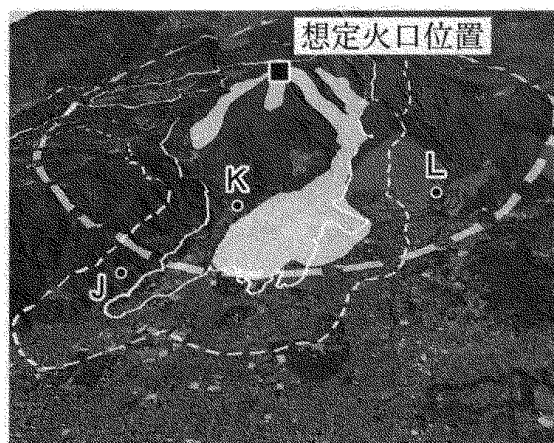
問 4 次の図 5 は、ある地域の火山防災マップであり、図 6 は、図 5 と衛星画像を地形の 3D モデルに重ね合わせたものである。また、後の文サ～スは、図 5 中の J～L のいずれかの地点における火山災害の危険性について述べたものである。J～L とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

4



自治体の資料により作成。

図 5



地理院地図などにより作成。

図 6

- サ 小高い場所のため、溶岩流や火砕流の到達は^{まぬが}免れるが、火砕流周辺の熱風は到達する可能性がある。
- シ 山麓部のため、火砕流が流れ込む危険があるほか、谷に沿って流れてくる溶岩流の一部が見えない可能性がある。
- ス 想定火口位置との間に尾根があるため、溶岩流や火砕流が流れ込む危険は小さいが、火口付近の状況が確認しにくい可能性がある。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	サ	サ	シ	シ	ス	ス
K	シ	ス	サ	ス	サ	シ
L	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理 A

問 5 造成された住宅地の中には、地震による被害に差異がみられる場合がある。

次の図 7 は、住宅地造成前後の地形断面を模式的に示したものであり、①～④は、造成後の宅地の場所である。他の宅地よりも地盤が固く、地震発生時には揺れにくいと考えられるが、周辺の盛り土からの崖崩れの可能性がある宅地として最も適当なものを、図 7 中の①～④のうちから一つ選べ。

5

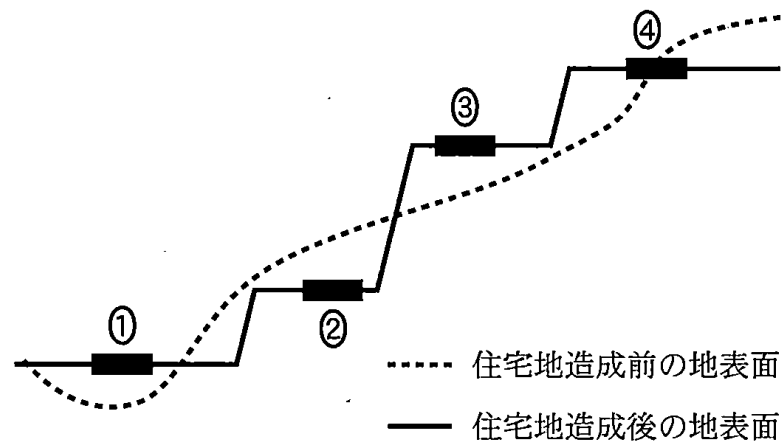


図 7

問 6 防災・減災の取組みの中には、自然環境の多様な機能をいかした社会資本の整備や土地利用を図ろうとする考え方にもとづくものがある。この考え方に当てはまる防災・減災の事例として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

6

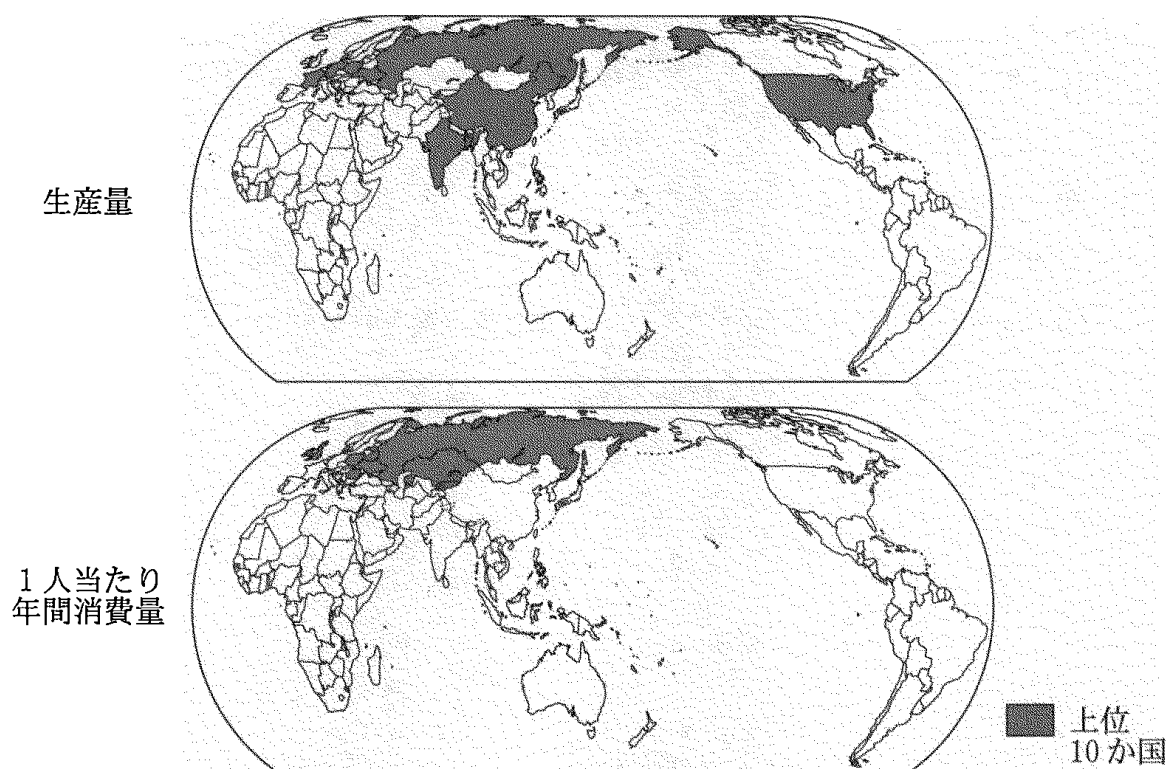
- ① 海岸と田畑との間にマツの植栽を行うことで、海からの飛砂や風の被害を防ぐ。
- ② 植林地が荒廃しないように継続的に管理することで、斜面崩壊による土砂災害を防ぐ。
- ③ 堤防沿いに竹を植栽することで、洪水時にあふれた水を早く排出して下流の洪水被害を軽減する。
- ④ 流域の水田を一時的に水をたくわえる遊水地として利用することで、河川の氾濫による洪水被害を軽減する。



地理 A

第 2 問 世界の生活・文化に関する次の問い(問 1 ～ 6)に答えよ。(配点 20)

問 1 作物の生産は、地域における消費や食文化と関連する。次の図 1 は、ジャガイモの生産量と 1 人当たり年間消費量について、世界の上位 10 か国を示したものである。図 1 から読み取れることがらとその背景について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 7

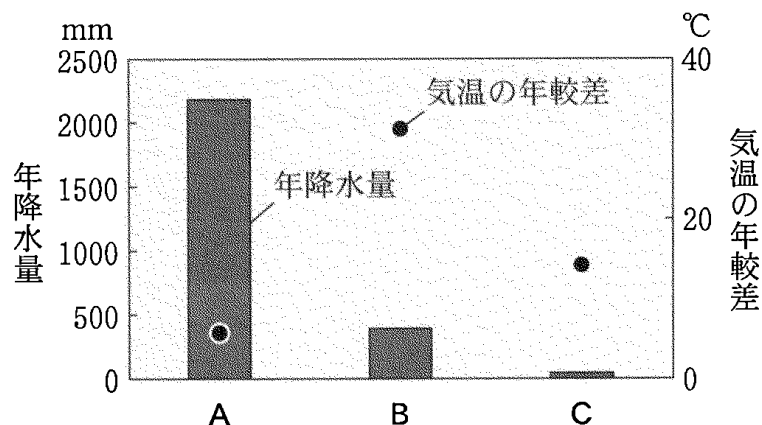


中国には台湾、ホンコン、マカオを含まない。統計年次は 2017 年。FAOSTAT により作成。

図 1

- ① 生産量が多いアメリカ合衆国では、ジャガイモは国内向けに生産されており、加工食品用ではなく主に生食用として消費されている。
- ② 生産量が多いインドや中国では、ジャガイモは単位面積当たりの収量が多いために栽培が盛んであり、ほとんどが輸出向けとなっている。
- ③ 生産量と 1 人当たり年間消費量が多い東ヨーロッパでは、冷涼でやせている土地でも育つジャガイモが広く生産され、日常食として定着している。
- ④ 1 人当たり年間消費量が多いイギリスでは、ヨーロッパで初めてジャガイモが持ち込まれ、食文化の中に定着している。

問 2 世界には家畜とともに暮らす人々がいる。次の図 2 中の A～C は、水牛、トナカイ、ラクダを家畜として利用する主な地域に含まれる、いずれかの地点の年降水量と気温の年較差を示したものである。また、後の文ア～ウは、図 2 中の A～C を含む地域のいずれかでみられる家畜について説明したものである。A～C とア～ウとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 8



『理科年表』により作成。

図 2

- ア 乾燥に強く、水を飲まずに長時間の移動が可能で、交通・運搬のほか、乳や肉は食料、毛は織物、皮は衣服などとして利用されている。
- イ 寒さに強く、そりでの運搬のほか、肉や血は食料、皮は衣服や住居、骨や角は薬や道具などの材料として利用されている。
- ウ 農地の耕作や運搬に使われるほか、乳や肉は食料、皮は衣服、角は印材などとして利用されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理 A

問 3 人々は地域の自然環境に適応しながら暮らしてきた。次の図 3 中の E ～ G は、生活や産業に風の影響がみられる地域を示したものである。また、後の文章カ～クは、E ～ G のいずれかに関することがらについて述べたものである。E ～ G とカ～クとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

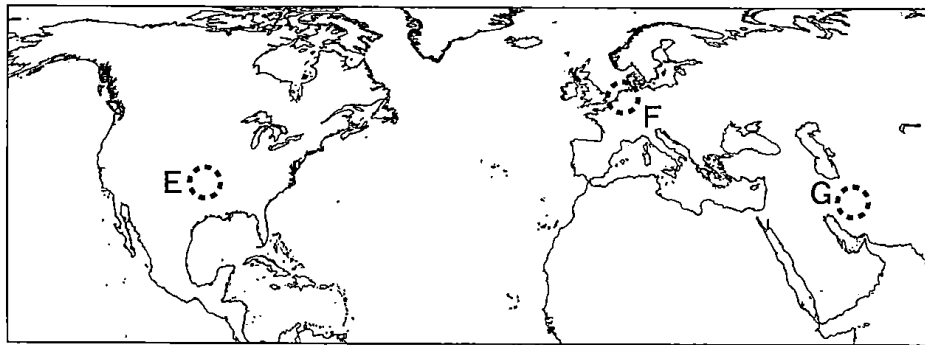


図 3

カ この地域では、家屋に煙突のような突き出た塔がみられる。夏の暑さをしのぐため、上空の風を家屋に取り込む構造となっている。

キ この地域では、強風によって家屋に被害が及ぶことがある。そのため、避難用のシェルターが地中や家屋の近くに設置されている。

ク この地域では、卓越風が地域の産業と密接に結びついていた。かつては、風力が主に排水や製粉、製材に利用されていた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	カ	カ	キ	キ	ク	ク
F	キ	ク	カ	ク	カ	キ
G	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 4 次の写真1は、アラビア半島南端に位置するイエメンの都市、シバームを撮影したものである。この都市は、ハドラマウト川の渓谷地帯にある古都で、交易の中心地として栄え、世界文化遺産にも登録されている。写真1に関連することがらについて述べた文として適当でないものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。 10

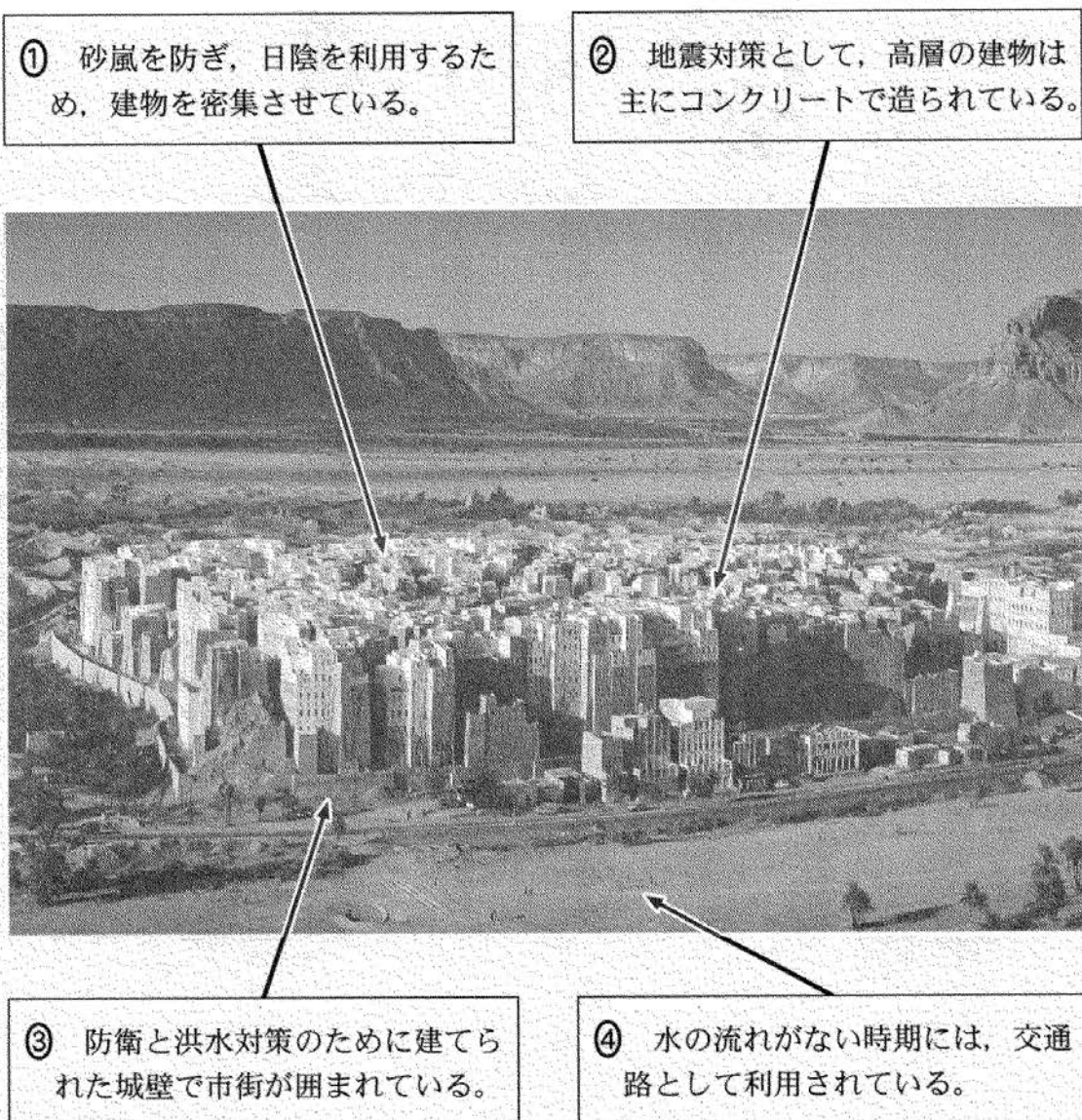


写真 1

地理 A

問 5 次の写真 2 は、ヨーロッパのある地域における建築物であり、後の図 4 中の①～⑨は、ヨーロッパにおける主な言語とキリスト教の主な宗派との組合せを示したものである。写真 2 の建築物がある地域の主な言語と宗派との組合せとして最も適当なものを、後の図 4 中の①～⑨のうちから一つ選べ。

11

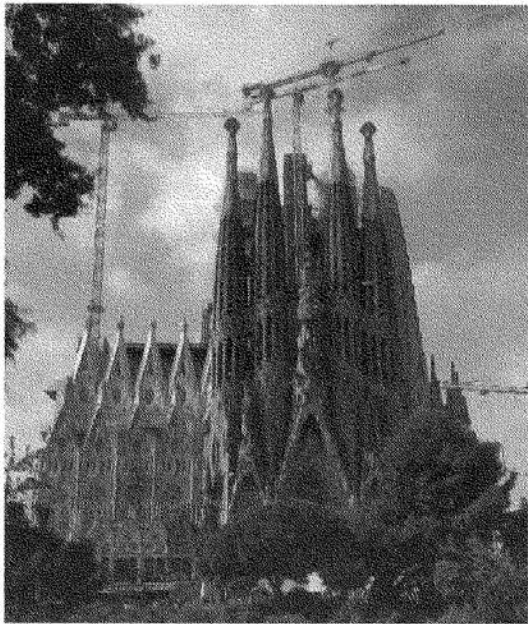


写真 2

		主な言語		
		ゲルマン語派	スラブ語派	ラテン語派
キリスト教の主な宗派	カトリック	①	②	③
	正教	④	⑤	⑥
	プロテスタント	⑦	⑧	⑨

図 4

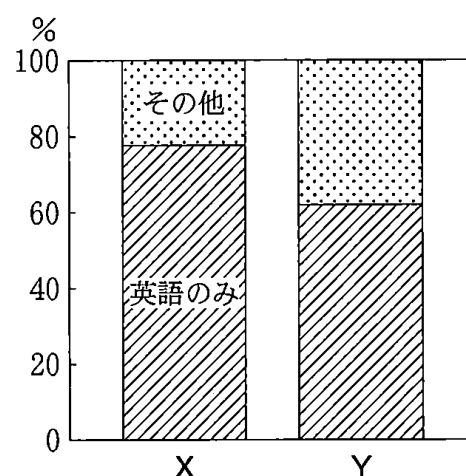
問 6 次の表 1 は、オーストラリアにおける出生地別の人口割合の変化を示したものであり、a と b は、1996 年と 2016 年のいずれかである。また、図 5 は、オーストラリア全体とシドニー大都市圏における家庭での使用言語の割合を示したものであり、X と Y は、オーストラリア全体とシドニー大都市圏のいずれかである。表 1 と図 5 に関する文章中の空欄サとシに当てはまる語句と記号との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

12

表 1
(単位：％)

出生地	人口割合	
	a	b
オーストラリア	73.7	78.0
イギリス	4.6	6.0
ニュージーランド	2.2	1.6
中国	2.2	0.6
インド	1.9	0.4
フィリピン	1.0	0.5
ベトナム	0.9	0.9
イタリア	0.7	1.3

中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。Parliament of Australia の資料などにより作成。



統計年次は 2016 年。

Australian Bureau of Statistics の資料などにより作成。

図 5

出生地別の人口割合は、(サ)に変化した。それに伴って、家庭での使用言語にも変化がみられる。オーストラリア国内でも地域による違いがみられ、シドニー大都市圏に該当するのは(シ)である。

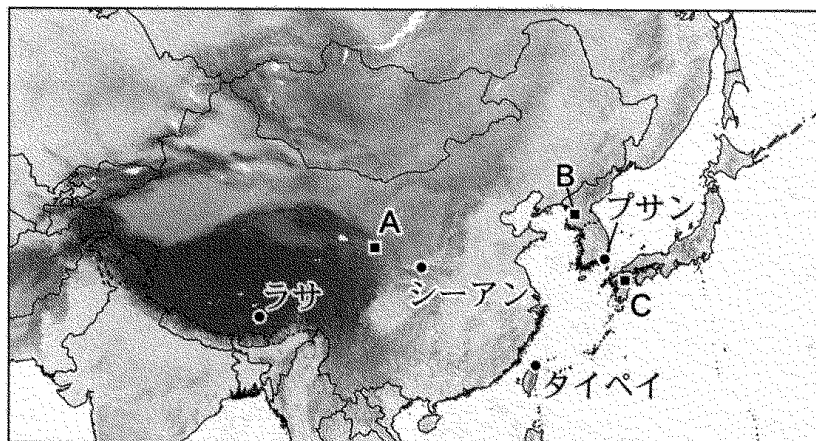
	①	②	③	④
サ	a から b	a から b	b から a	b から a
シ	X	Y	X	Y

地理 A

第3問 地理研究部のイオリさんたちは、東アジアの暮らしについて、地域性と結びつきに着目して調べた。イオリさんたちが探究したことに関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 20)

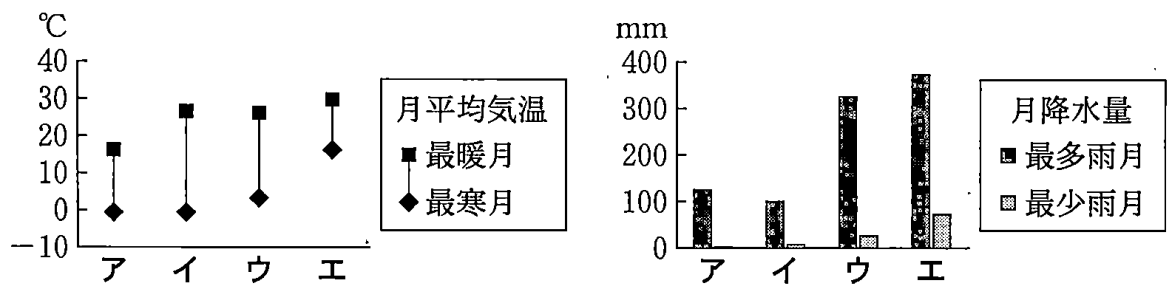
問1 イオリさんたちは、東アジアの気候について調べ、次の図1と後の図2にまとめた。図2中のア～エは、図1中のラサ、シーアン、タイペイ、プサンのいずれかの地点における最暖月と最寒月の月平均気温、および最多雨月と最少雨月の月降水量を示したものである。プサンに該当するものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

13



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。
国土地理院の資料などにより作成。

図 1



『理科年表』により作成。

図 2

① ア

② イ

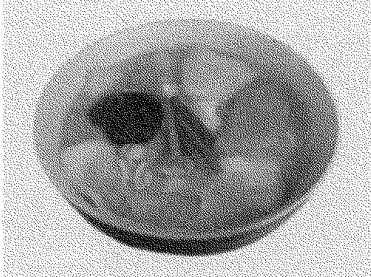
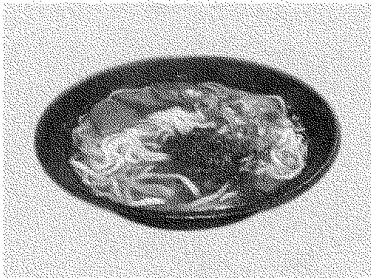
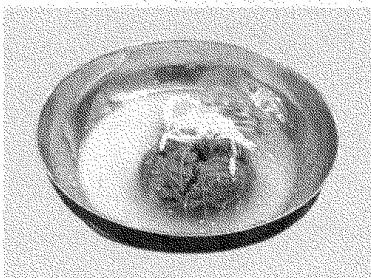
③ ウ

④ エ

問 2 東アジアには自然環境に応じて様々な食文化がみられるのではないかと考えたナツキさんは、麺類に着目して次の資料 1 にまとめた。資料 1 中のカ～クは、前ページの図 1 中の地点 A～C を含む地域のいずれかで伝統的に食べられてきた麺類に関して示したものである。カ～クと A～C との組合せとして最も適切なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

14

資料 1

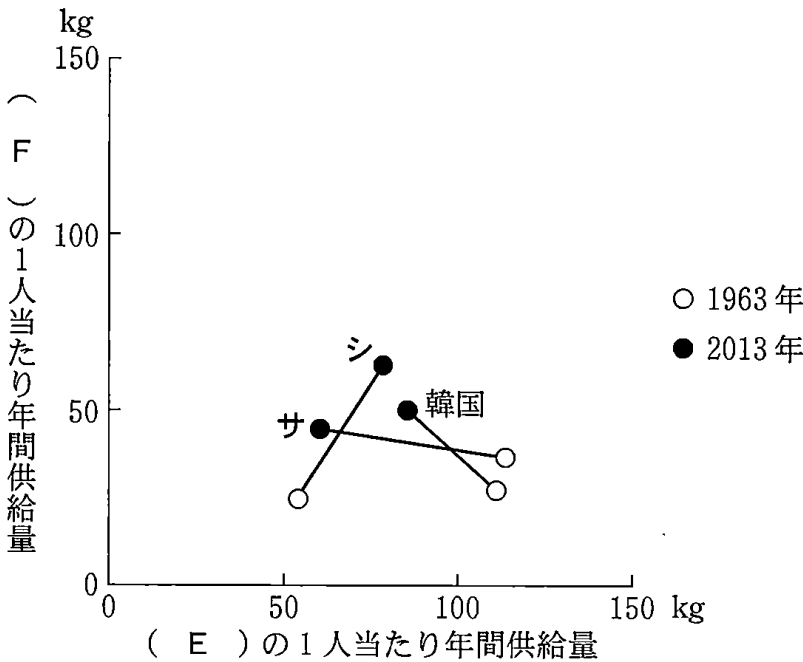
カ		二毛作の農作物として小麦が生産されている。小麦粉から麺を手延べするほか、野菜などの具材を入れる。
キ		主に小麦が生産されている。小麦粉を麺の材料として利用するほか、イスラーム(イスラム教)の文化の影響から、豚肉ではなく牛肉を入れる。
ク		低温に強いソバが広く生産されている。そば粉を麺の材料に加えるほか、冬の保存食としてつくる辛い漬物の汁を入れる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	A	A	B	B	C	C
キ	B	C	A	C	A	B
ク	C	B	C	A	B	A

地理 A

問 3 イオリさんは、食に関する暮らしの変化をとらえるために、東アジアの食料消費について調べた。次の図 3 は、日本、韓国、中国*における重要な穀物である小麦と米の 1 人当たり年間供給量の変化を示したものである。図 3 中の空欄 E と F は小麦と米のいずれか、サとシは日本と中国のいずれかである。小麦と日本との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。



FAOSTAT により作成。

図 3

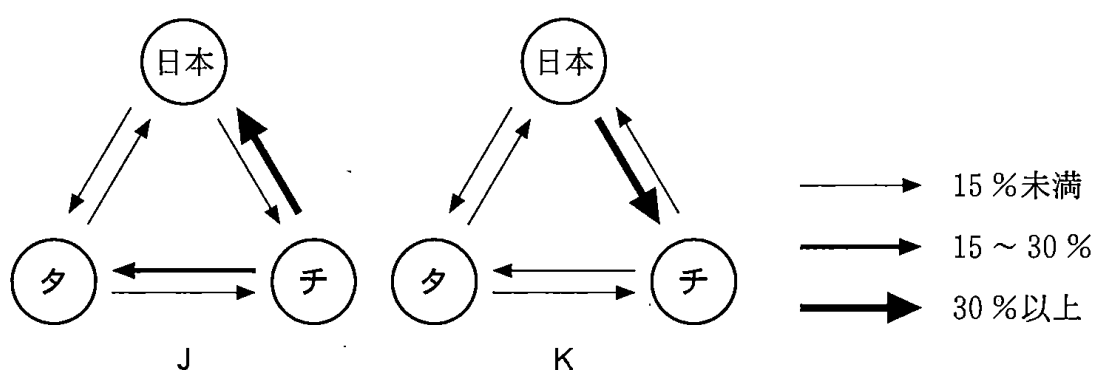
	①	②	③	④
小麦	E	E	F	F
日本	サ	シ	サ	シ

問 4 イオリさんたちは、東アジアの結びつきによっても暮らしが支えられているのではないかと考え、日本、韓国、中国*の3か国間の貿易を調べた。次の図4は、3か国間の取引割合を示したものであり、JとKは乗用車と野菜**のいずれか、タとチは韓国と中国のいずれかである。野菜と韓国との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

16

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

**乾燥、生鮮、冷蔵、冷凍などを含む。



3か国間の輸入取引額の合計が100%となるようにした。
統計年次は2018年。UN Comtradeにより作成。

図 4

	①	②	③	④
野 菜	J	J	K	K
韓 国	タ	チ	タ	チ

地理 A

問 5 次にイオリさんは、サービスに関する日本の貿易を調べた。次の表 1 は、いくつかの国・地域に対する日本の国際収支のうち、知的財産使用料*と文化・娯楽等サービスの収支を示したものであり、表 1 中のマとミは知的財産使用料と文化・娯楽等サービスの収支のいずれか、MとNは韓国と中国**のいずれかである。文化・娯楽等サービスの収支と中国との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 17

*著作権料や特許料など。

**台湾，ホンコン，マカオを含まない。

表 1

(単位：億円)

	マ	ミ
M	5,284	84
台 湾	759	6
N	388	－280

2015～2019 年の平均値。

日本銀行の資料により作成。

	①	②	③	④
文化・娯楽等サービスの収支	マ	マ	ミ	ミ
中 国	M	N	M	N

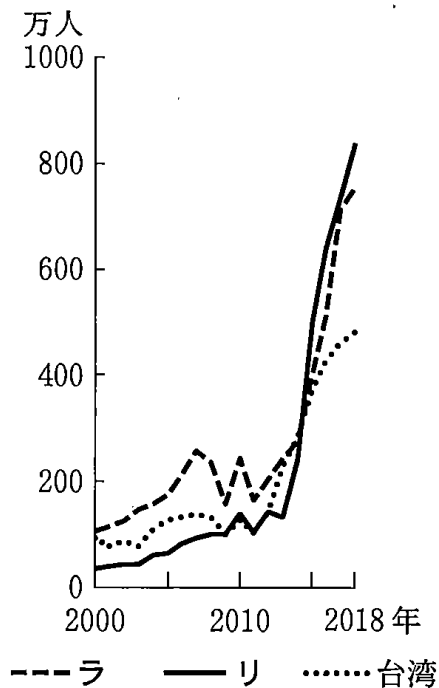
問 6 最後にナツキさんは、人々の移動に着目して訪日旅行者の動向をまとめた。

次の図5は、2000年から2018年にかけての韓国、台湾、中国*からの訪日旅行者数の推移を示したものであり、図6は、2018年における訪日旅行者の地方別延べ宿泊数**の国・地域別内訳を示したものである。図5中のラとり、および図6中の凡例PとQは、韓国と中国のいずれかである。中国に該当する正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

18

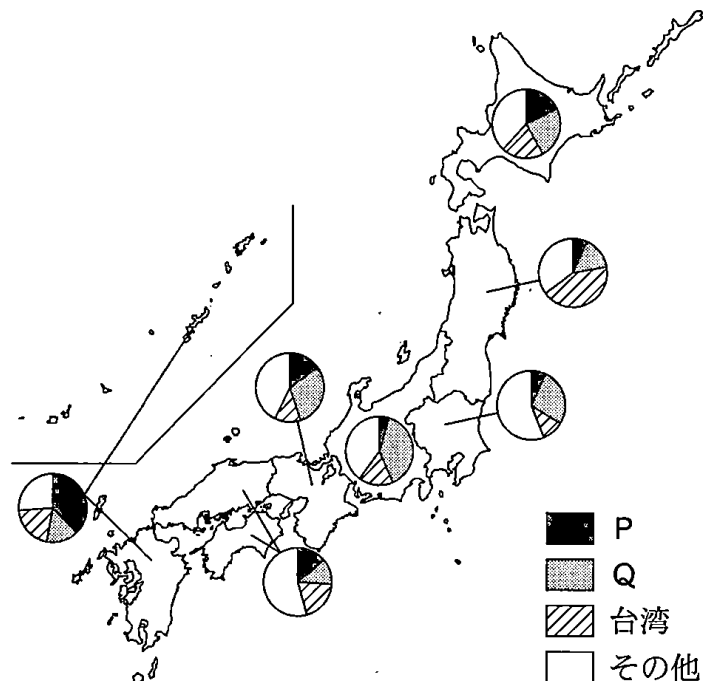
*ホンコンとマカオを含まない。

**宿泊者数×宿泊数。



JNTO の資料により作成。

図 5



宿泊地で集計したもの。JNTO の資料により作成。

図 6

	①	②	③	④
訪日旅行者数の推移	ラ	ラ	リ	リ
訪日旅行者の地方別延べ宿泊数	P	Q	P	Q

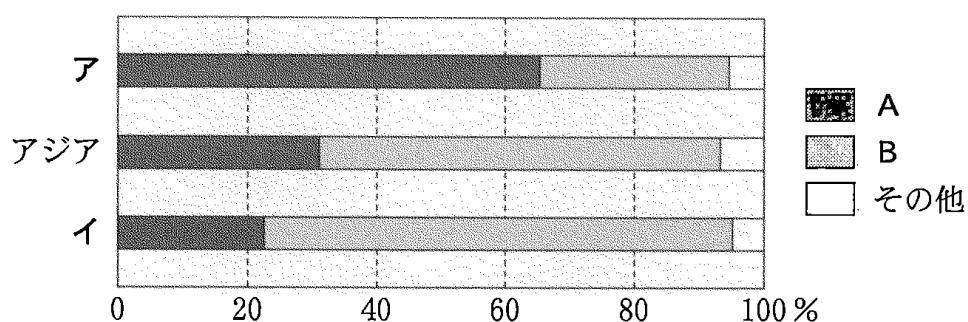
地理 A

第 4 問 地球的課題に関する次の問い(問 1 ～ 6)に答えよ。(配点 20)

問 1 食料問題の背景の一つに、食料用途以外での穀物利用の増加があげられる。

次の図 1 は、穀物の消費量に占める用途別の割合を地域ごとに示したものであり、アとイはアフリカとヨーロッパのいずれか、凡例 A と B は食料用途と飼料用途のいずれかである。ヨーロッパと飼料用途との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

19



統計年次は 2016 年。FAOSTAT により作成。

図 1

	①	②	③	④
ヨーロッパ	ア	ア	イ	イ
飼料用途	A	B	A	B

問 2 次の資料 1 は、日本における食事 D と E に使用されている主な食材の重量と産地を示したものである。これらの食事のフードマイレージ*や食材の調達に関連することがらについて述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

20

*食材の重量に、生産地から消費地までの輸送距離を乗じた値。国内産の輸送距離は全て同一とする。

資料 1

食事D

焼き魚定食

主な食材

・コメ	120 g	国内産
・アジ	100 g	国内産
・大豆	40 g	アメリカ合衆国産
・大根	20 g	国内産

食事E

ハンバーグ(目玉焼きのせ)セット

主な食材

・牛肉	120 g	アメリカ合衆国産
・小麦粉	100 g	カナダ産
・卵	40 g	国内産
・コーヒー豆	20 g	タンザニア産

- ① 食材の重量が倍増しても、使用食材をすべて国内産に変更することで、食事 D と E とともにフードマイレージは小さくなる。
- ② 食事 D と E のフードマイレージを計算すると、食事 D よりも食事 E の値が大きい。
- ③ 食事 E について、使用食材をすべて国内産に変更することで、食事をつくるのに必要な単価を大幅に低下させることができる。
- ④ 食事 E について、フェアトレードの仕組みを活用することによって単価は上昇するが、その上昇分が生産者に還元されることになる。

地理 A

問 3 次の表 1 は、2018 年と 2030 年におけるメガシティ*の数を地域別に示したものであり、J～L は、アジア、アフリカ、北アメリカのいずれかである。また、メガシティの現状と課題に関する文章中の空欄 a には、文力とキのいずれかが当てはまる。K に該当する地域と空欄 a に当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

*人口 1000 万人以上の都市や都市圏。

表 1

	2018 年の メガシティ数	2030 年の メガシティ数(予測値)
J	20	27
中央・南アメリカ	6	6
K	3	5
L	2	2
ヨーロッパ	2	3
オセアニア	0	0

The World's Cities in 2018 により作成。

世界各地のメガシティの特性を比較すると、発生する都市問題は地域によって異なる傾向がみられる。例えば、中央・南アメリカのメガシティでは、(a) が顕著な問題となっており、対策が求められている。

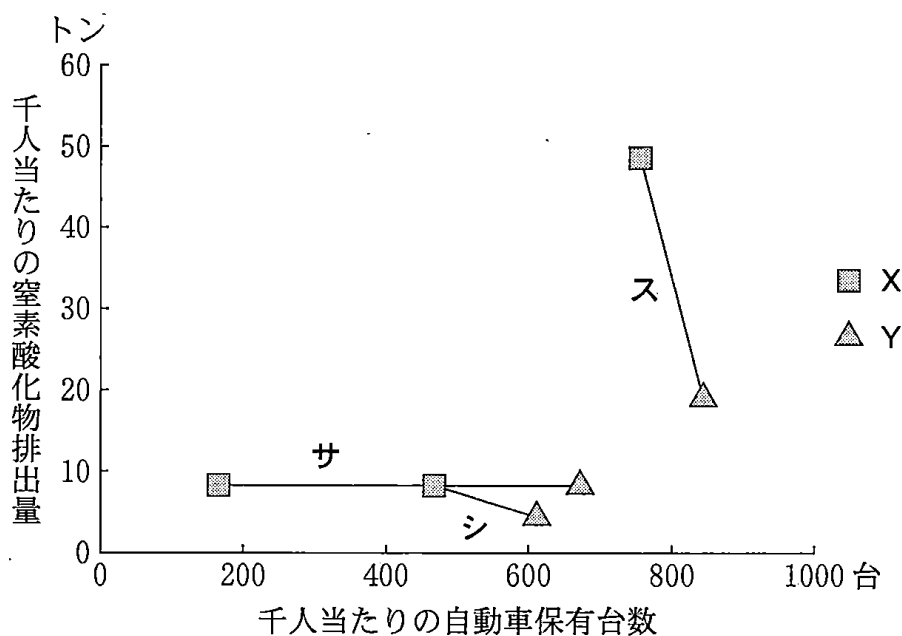
力 急速に進む高齢化と社会基盤の老朽化

キ 人口増加に伴って生じるスラムの拡大と居住環境の悪化

	①	②	③	④	⑤	⑥
K	アジア	アジア	アフリカ	アフリカ	北アメリカ	北アメリカ
a	力	キ	力	キ	力	キ

問 4 モータリゼーションの進展は、環境問題との関わりが大きい。次の図 2 は、いくつかの国の 1990 年と 2015 年における人口千人当たりの自動車保有台数と、人口千人当たりの窒素酸化物排出量*を示したものである。図 2 中のサ～ス は日本、アメリカ合衆国、ポーランドのいずれか、凡例 X と Y は 1990 年と 2015 年のいずれかである。ポーランドと 2015 年との正しい組合せを、後の ①～⑥のうちから一つ選べ。 22

*窒素酸化物は大気汚染物質の一つであり、排出量は自動車、船舶、航空機などの移動する発生源からの値を示す。



『世界の統計 2018』などにより作成。

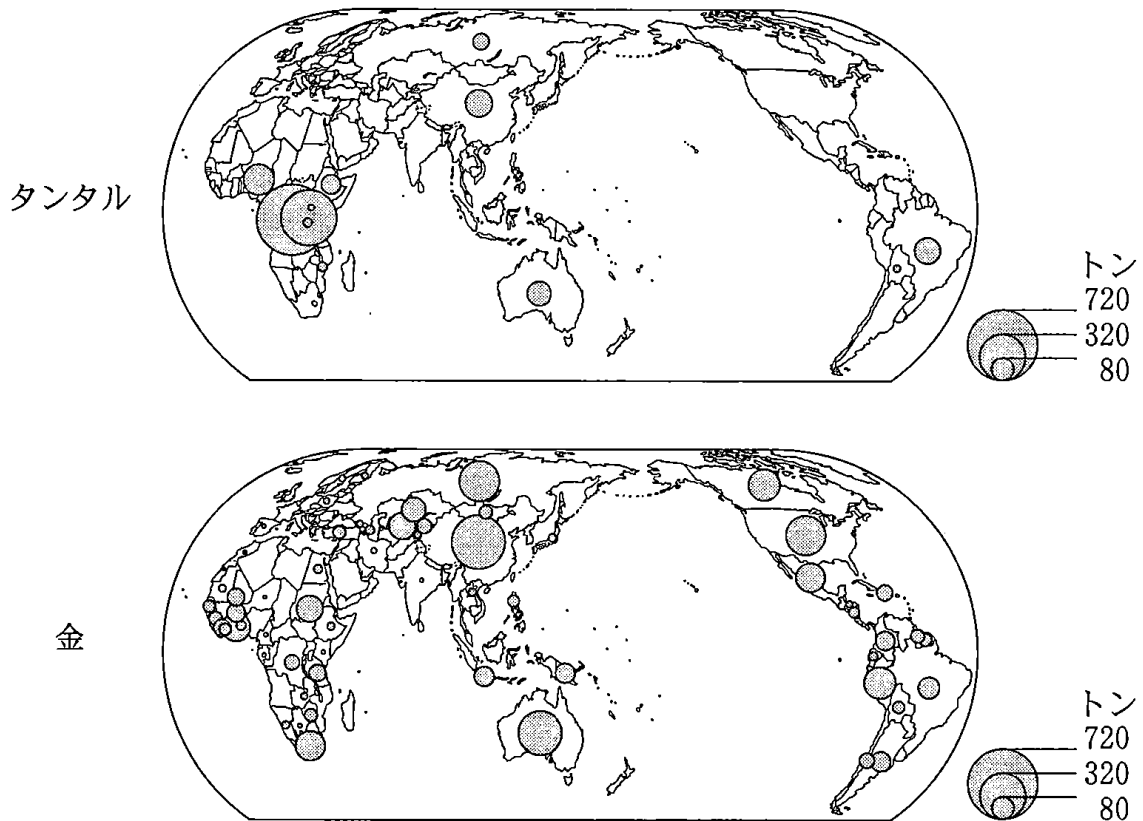
図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
ポーランド	サ	サ	シ	シ	ス	ス
2015 年	X	Y	X	Y	X	Y

地理 A

問 5 次の図 3 は、スマートフォンなどの電子機器に利用される金属であるタンタルと、古くから貴金属として利用されてきた金の産出量を国・地域別に示したものである。鉱物の分布と採掘をめぐる課題に関する文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

23



中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。
統計年次は 2017 年。USGS の資料などにより作成。

図 3

図 3 から、①金よりもタンタルの方が産出国に偏りがあること、また②タンタルは金と比べて産出量が少ないことがわかる。分布や産出量から、③タンタルより金の方が、産出国の政情不安が世界全体の産出量に影響を与えやすいといえる。タンタルはレアメタルの一つであり、④情報通信機器の世界的な普及などに伴い需要が増加しているが、レアメタルは武装集団が資金源とするなど、紛争と関わることもあるため、利用国側の姿勢が問われている。

問 6 現代社会の変化は、世界各地の先住民族の暮らしに影響を及ぼしている。次の図 4 中の P ～ R は、いくつかの先住民族が主に居住する地域を示しており、後の文タ～ツは、図 4 中の P ～ R のいずれかに居住する先住民族に関連することがらについて述べたものである。P ～ R とタ～ツとの最も適当な組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

24

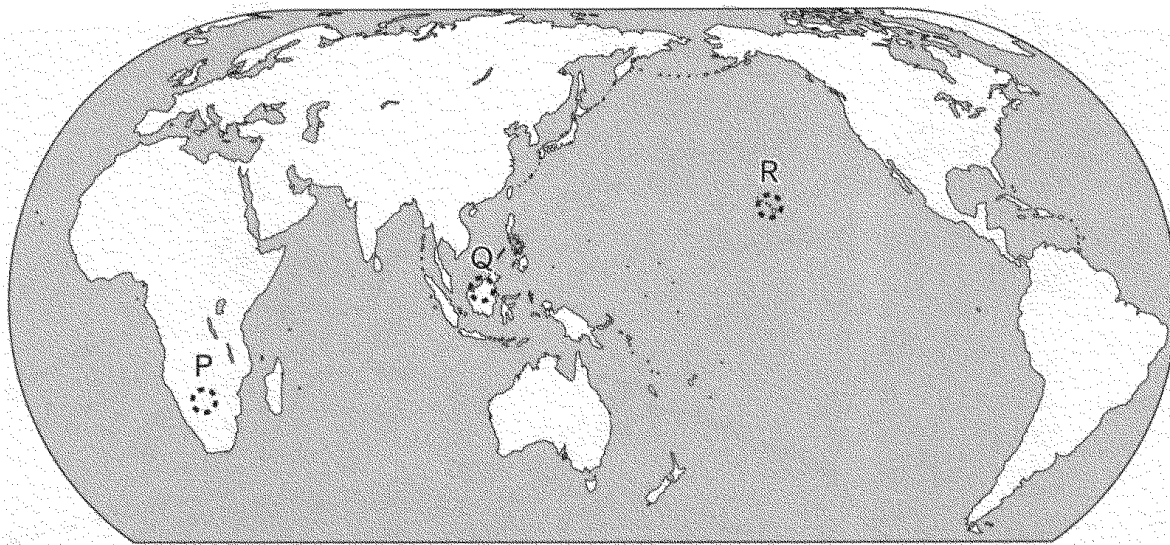


図 4

タ この地域の先住民族の言語は、1970 年代にこの地域の公用語となり、観光に活用されるなど、文化の多様性のシンボルとなっている。

チ この地域の先住民族は、移動しながら採集や狩猟などを行ってきたが、野生動物保護区の設置などに伴って定住化が進んでいる。

ツ この地域では、先住民族が焼畑による自給的な作物栽培を行ってきたが、近年では商品作物の栽培が拡大し、森林の生物多様性が損なわれている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
Q	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
R	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

地理A

第5問 東北地方に住む高校生のリサさんとユイさんは、北海道^{とまこまい}苫小牧市とその周辺の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。
(配点 20)

問1 リサさんたちは、調査に出発する前に次の図1を見て、苫小牧市周辺の景観の特徴について考えた。図1から考えられることがらについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

25



地理院地図により作成。

図 1.

- ① 南側からフェリーで苫小牧港に近づくと、進行方向に向かって右側に市街地と樽前山が見えるだろう。
- ② 列車で沼ノ端駅から東に向かうと、左側に弁天沼やウトナイ湖の水面が見えるだろう。
- ③ 沼ノ端駅のそばを通る国道を北西方向に歩いていくと、その先に湿地の見える場所があるだろう。
- ④ バスで苫小牧中央インターチェンジから高速道路を西に向かうと、右側には市街地が、左側には樽前山が見えるだろう。

地理 A

問 2 先生から借りた過去の 5 万分の 1 地形図(原寸，一部改変)を見たりサさんたちは、次の図 2 のように、苫小牧市周辺で多くの川が河口付近で屈曲し、流路が頻繁に変化していることに気づいた。川の流路が変化している理由を知るために、リサさんたちは、苫小牧市内の博物館を訪問して学芸員に質問した。リサさんたちと学芸員との会話文中の空欄ア～ウに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。

26

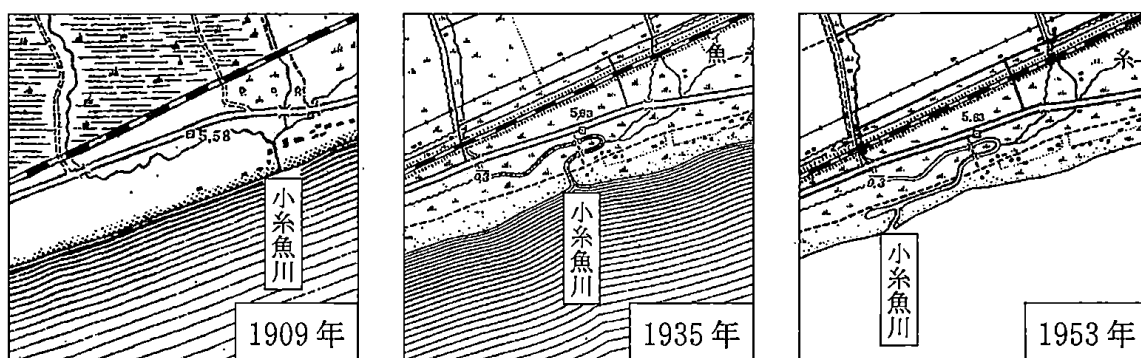


図 2

リ サ 「なぜ、この地域では図 2 のように多くの川が河口付近で曲がり、海岸線と平行に流れるのですか」

学芸員 「苫小牧市の海岸は、直線的に砂浜が続くのが特徴です。これは、(ア)によって運ばれる砂の堆積が最も大きな理由です。他方で、この地域では(イ)になると、河川の流量が大幅に減少するため、河口付近が砂でふさがれて、川の流路がたびたび変わるのです」

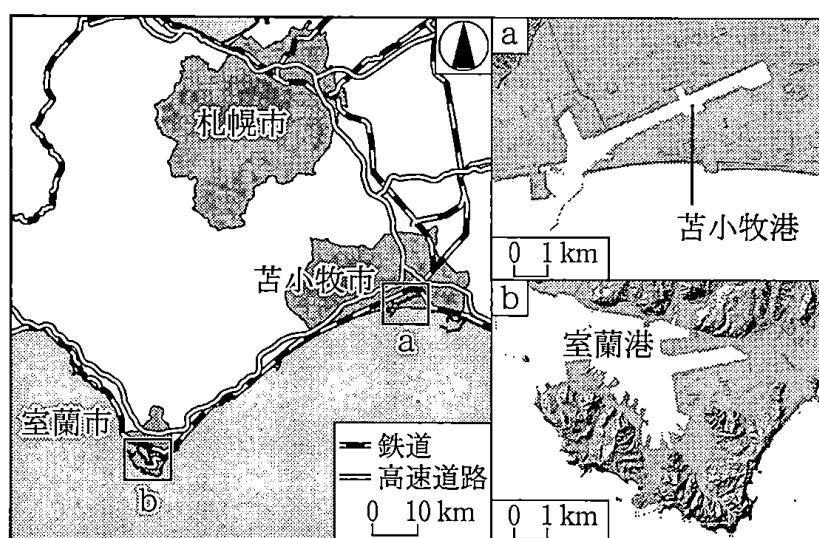
ユ イ 「(イ)には、河川よりも海の運搬・堆積作用の方が(ウ)なるということですね」

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	沿岸流	沿岸流	沿岸流	沿岸流	潮 汐	潮 汐	潮 汐	潮 汐
イ	夏 季	夏 季	冬 季	冬 季	夏 季	夏 季	冬 季	冬 季
ウ	大きく	小さく	大きく	小さく	大きく	小さく	大きく	小さく

地理A

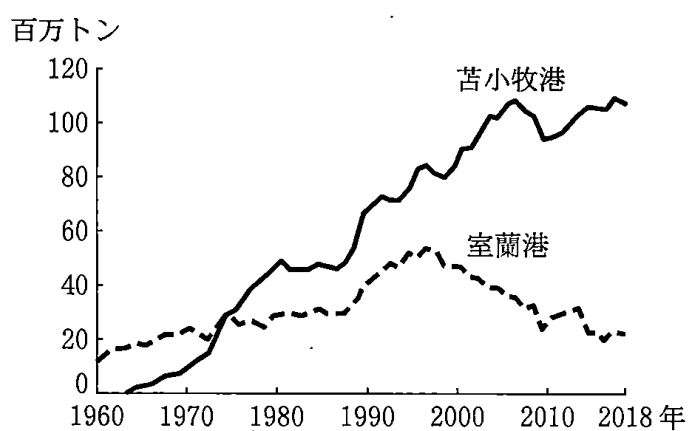
問 3 リサさんたちは、苫小牧港の整備と苫小牧市の発展について、市役所の職員から話を聞いた。次の図3は、苫小牧市周辺の概要と、陰影をつけて地形の起伏を表現した苫小牧港と室蘭港の地図である。また、後の図4は苫小牧港と室蘭港の海上貨物取扱量の推移を、図5は2018年における両港の海上貨物取扱量の内訳を示したものである。これらの図をもとにした、リサさんたちと職員との会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

27



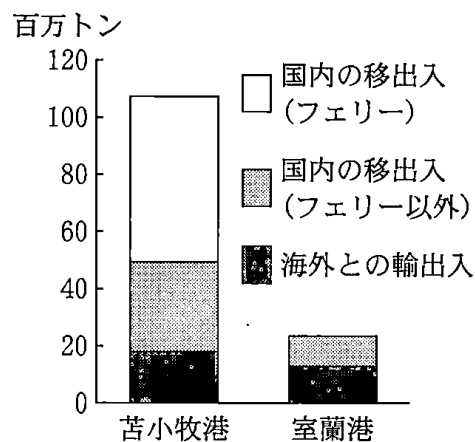
地理院地図などにより作成。

図 3



苫小牧港統計年報などにより作成。

図 4



苫小牧港統計年報などにより作成。

図 5

- 職員 「室蘭港は、1960 年代まで工業製品や北海道の内陸部で産出されたエネルギー資源を本州に積み出す、北海道でも有数の港湾でした」
- リ サ 「①室蘭港が、内湾に面していて波が穏やかな天然の良港だからですね」
- 職員 「一方で、現在の苫小牧港は、1963 年に大規模な掘り込み式の港湾として整備されてから、急速に海上貨物取扱量を増やしていきます」
- ユ イ 「苫小牧港が発展したのは、②人口が多い札幌市やその周辺の地域に近いことと、北海道の中央部からの輸送距離が短縮できたためでしょうね」
- 職員 「かつての苫小牧市では、戦前に立地した一部の大工場がみられる程度でした。苫小牧港が整備されて以降、港湾に関連する産業も成長しました。人口も増え、苫小牧市は北海道内で屈指の工業都市となりました」
- リ サ 「苫小牧市で港湾関連の産業が発達したのは、③港の近くが平坦で、巨大な倉庫や工場を造りやすかったことも関係していますね」
- 職員 「2018 年時点で苫小牧港は、北海道で最も海上貨物取扱量が多い港湾です。苫小牧港は、フェリーが海上貨物取扱量の半分以上を占めているのが特徴です」
- ユ イ 「フェリーを除いた海上貨物取扱量をみると、④苫小牧港は、海外との貿易の占める割合が室蘭港よりも高いですね。苫小牧港は、北海道の重要な海の玄関口となっているのですね」

地理 A

問 4 市役所の職員の話に興味をもったりサさんたちは、苫小牧港整備以降の工業の変化を統計で確認した。次の表 1 は、製造業のいくつかの業種の変化について、北海道の製造品出荷額に占める苫小牧市の割合と、苫小牧市の製造品出荷額に占める各業種の割合を示したものである。また、表 1 中の A～C は、食料品、石油製品・石炭製品、パルプ・紙・紙加工品のいずれかである。業種と A～C との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

表 1

(単位：％)

	北海道の製造品出荷額に占める 苫小牧市の割合		苫小牧市の製造品出荷額に占める 各業種の割合	
	1971 年	2018 年	1971 年	2018 年
A	28.6	31.6	54.1	9.6
B	3.7	69.5	0.7	56.1
C	0.9	0.4	5.8	0.7

『工業統計表』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
食料品	A	A	B	B	C	C
石油製品・石炭製品	B	C	A	C	A	B
パルプ・紙・紙加工品	C	B	C	A	B	A

問 5 リサさんたちは、苫小牧市内のいくつかの住宅地区を歩き、建物や街並みの特徴をメモした資料 1 と、1995 年と 2015 年の年齢別人口構成を示す図 6 を作成した。図 6 中のカとキは、資料 1 中の地区 d と e のいずれかにおける人口構成の変化を示したものであり、X 年と Y 年は、1995 年と 2015 年のいずれかである。地区 d に該当する図と 1995 年との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

29

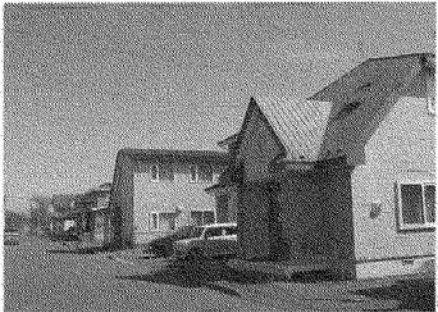
資料 1

地区 d 市中心部の社員用住宅地区

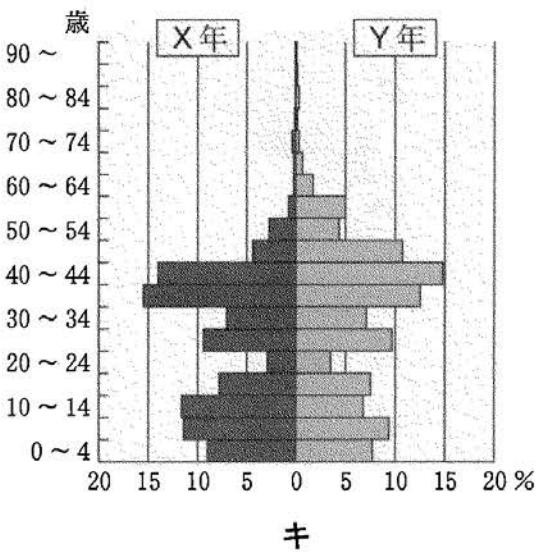
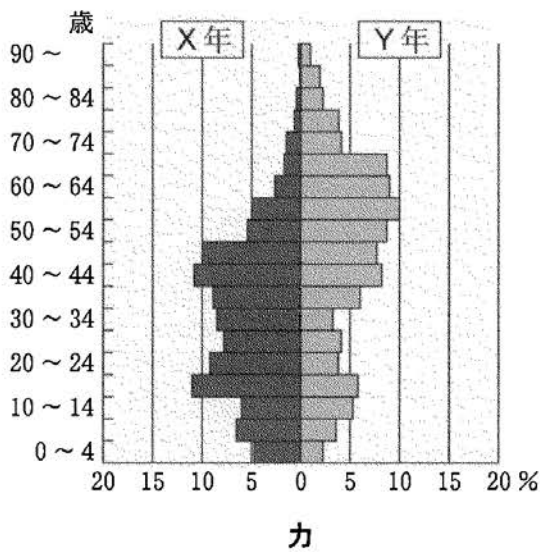


工場従業員とその家族向けの住宅団地。
空き部屋もいくつかある。冬に洗濯物を乾か
せるよう、ベランダに覆いがつけられている。

地区 e 郊外の戸建て住宅地区



30 年ほど前に造成された地区。
車が 2 台以上ある家が目立つ。北向きの
玄関には、屋根や覆いのある家が多い。



国勢調査により作成。

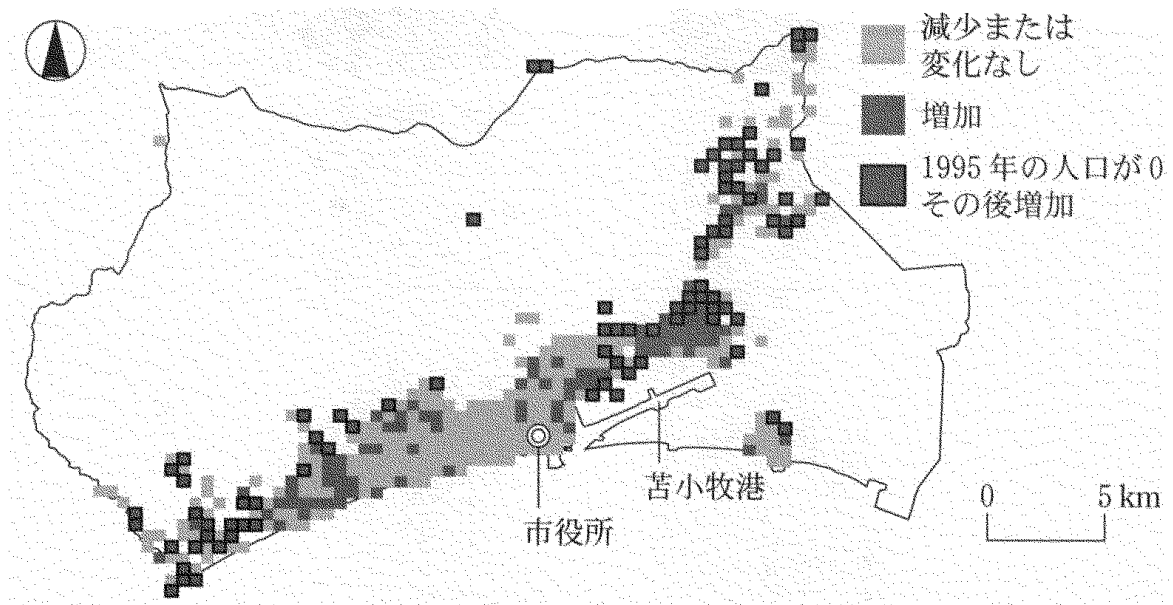
図 6

	①	②	③	④
地区 d	力	力	キ	キ
1995 年	X 年	Y 年	X 年	Y 年

地理 A

問 6 現地での調査を終えたりサさんたちは、学校に戻り調査結果と地域の問題について次の図 7 を見ながら先生と話し合った。図 7 は、1995 年から 2015 年にかけての人口増減を示したものである。また、会話文中の空欄 E には語句サとシのいずれか、空欄 F には文タとチのいずれかが当てはまる。空欄 E と F に当てはまる語句と文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

30



国勢調査などにより作成。

図 7

り サ 「苦小牧市では、私たちの住む市と似た問題もみられました。空き店舗や空き地が増えたり、街に来る人が減少したりするなどの問題が、(E)側の市街地ではみられます」

先 生 「同じような問題は、全国の地方都市でも共通してみられます。では、この問題の解決に向けた取組みを、構想してみてください」

ユ イ 「この問題の解決には、(F)が考えられるのではないのでしょうか。この取組みは、温室効果ガスの削減にもつなげられると思います」

先 生 「いいですね。今回の調査と考察を私たちの住む市でも活用してください」

(E) に当てはまる語句

サ 市役所の西

シ 苫小牧港の北

(F) に当てはまる文

タ 郊外で大型の駐車場を備えたショッピングセンターの開発や、大規模なマンションの建設を進めること

チ 利用者の予約に応じて運行するバスの導入や、公共交通機関の定時運行によって利便性を高めること

	①	②	③	④
E	サ	サ	シ	シ
F	タ	チ	タ	チ

